

【緊急声明】 子供への接種の即時中止を！

日本の未来のために再考を！

医学博士 長尾和宏

【緊急声明】

5〜11歳の子ども達への新型コロナワクチン接種の「努力義務」規定に強く抗議します。

子ども達、若者達への新型コロナワクチン接種の即時中止を求めます。

去る8月8日、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、5〜11歳の子ども達の新型コロナワクチン接種について9月上旬にも「努力義務」を課すことが了承されました。新型コロナウィルス感染症ではほぼ重症化しない子ども達に、感染予防効果が1ヵ月程度でマイナスに転じる可能性のある武漢株対応ワクチンを努力義務にしたのです。

子どもへのワクチン接種に関しては、英国では免疫不全者と同居している小児は接種可能としながらも基本的に重症化リスクが高い小児に限って推奨されており、ドイツでは基礎疾患を有する場合や重症化リスクのある者と接触のある場合に推奨するとされています。さらにデンマークでも、健康な18歳未満の若者に対するワクチン接種は一般的には提供されず、重症化リスクがある

場合など特定の医学的評価を経て提供することが可能としています。子どもや若者がオミクロン変異体のCOVID-19によって重症化することはごく稀であることから、ベネフィットよりリスクが上回ると判断しての事です。

世界の中で日本だけが、子ども達、若者を守ろうとしない国だという事が証明されてしまいました。ワクチン接種率世界トップクラス、マスク装着率世界トップクラスの日本が、現在は新型コロナウィルス感染者数世界ナンバー1となっています。冷静に考えれば、これだけでも日本の感染症対策が間違っているという事が判断できます。

また2回目までのワクチン接種を終えたすべての人を対象に、オミクロン変異体対応のmRNAワクチン接種を10月中旬以降に開始する方針も決まりました。オミクロン変異体対応といわれる2価ワクチンは、武漢株とBA.1変異体のスパイクタンパクを産生するmRNA遺伝子製剤です。これまでにほとんど臨床試験が行われていませんし、どのようなマイナスの影響があるかは不明で

す。現在流行しているBA.5変異体にはほぼ無効であることが予想されますし、秋にはBA.5変異体とは別の変異体が流行しているでしょう。さらに武田薬品のノババックスも塩野義製薬のコロナワクチンも武漢株スパイクタンパクの遺伝子組換え製剤です。つまり国内産のコロナワクチンもすべて武漢株対応ワクチンでオミクロン変異体への効果は期待できません。

昨年4月に、医学雑誌Circulation Researchにコロナウィルスのスパイクタンパクに血栓を形成し、内皮を傷害する毒性があることが発表されました。その後、世界各国からコロナウィルスのスパイクタンパクが血栓形成毒性を持つことを示唆する論文が多数発表されています。mRNAワクチンには、このコロナウィルスのスパイクタンパクの血栓形成毒性を除去した形跡が認められず、実際に接種後に血栓に関連する副反応が多数報告されています。これらのことから、このようなタンパク質を発現する遺伝子製剤やタンパク質自体を体内に投与することは医学的に大きなリス

クを生じると予想されます。

①厚労省のこれまでの統計から、子ども達、若者は新型コロナウィルスに感染してもほとんど重症化せず、オミクロン変異体に至ってはインフルエンザによる被害よりも小さいことが分かっています。

②現在、感染拡大しているオミクロン変異体（BA.5変異体）は「普通の風邪と大差ない」と8月2日に日本感染症学会が緊急声明を発表しており、新型コロナウィルスワクチンは特例承認の要件を満たさなくなっています。

③5〜18歳未満の子ども達の新型コロナワクチンによる副反応報告は

914件。うち重篤は284件（未回復55件、後遺症あり4件）、死亡は5件にのぼります。（2022年6月10日ワクチン副反応検討部会資料より）

④重要な副反応として心筋炎・心膜炎があり、特に若年層の男性での報告例が多いことが分かっています。※ブライトン分類1〜3の報告数は、ファイザー社で106例、モデルナ社で70例あり、29歳未満の男性はファイザー社で55例（51・9%）、モデルナ社で49例（70・0%）と若年男性に集中しています。（2022年8月5日ワクチン副反応検討部会資料より）※ブライトン分類Ⅱ予防

接種後の副反応（アナフィラキシー反応）の評価に関する国際基準

⑤新型コロナワクチンの中長期的な副反応・副作用は未だに分かっていません。「普通の風邪と大差ない」感染症に対してワクチンの特例承認を取り消すべきであり、ほとんど重症化しないことが分かっている子ども達、若者に対して、上記の様なりスクを負わせるワクチン接種を推奨するメリットは全くなく、デメリットしか考えられません。さらに、自治体によつては今後の母子手帳に新型コロナワクチン接種のスケジュールが記入されたものが配布されるという事

も明らかとなりました。

世界の多くの国が特別な感染対策を中止し、ワクチン接種から撤退している中、日本だけが子ども達も含めてワクチン接種を繰り返して行っていることとしている事に、私たちは大きな危機感を持っています。未来ある子ども達、若者達への新型コロナワクチン接種の即時中止を求めます。また5〜11歳の子ども達への新型コロナワクチン接種の「努力義務」規定に強く抗議し、その撤回を求め

2022年8月17日

全国有志医師の会

長尾和宏の「生」と「死」



長尾和宏
(ながおかずひろ)

医療法人社団裕和会理事長、
長尾クリニック名誉院長

1984年 東京医科大学卒業、大阪大学第二内科入局

1991年 医学博士（大阪大学）授与

1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業、現在に至る

日本慢性期医療協会理事、日本ホスピス在宅ケア研究会理事、日本尊厳死協会副理事長、全国在宅療養支援診療所連絡会世話人、関西国際大学客員教授

【医学博士】

日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、指導医、日本在宅医学学会専門医、日本禁煙学会専門医、日本内科学会認定医、労働衛生コンサルタント

【著書】

『平穏死・10の条件』、『抗がん剤・10のやめどき』『糖尿病と膵臓がん』など多数。『痛くない死に方』と『痛い在宅医』は、映画化され、2021年春公開。『小説安楽死特区』も即重版し、アマゾン1位。最新作は「ひとりも、死なせへん2」。

月刊

2022 10

公論

世界の視点で
情報を発信する
総合誌

**「再考の府」参議院の議員は
しっかり勉強し、伯仲の議論を展開せよ**

提言 本誌主幹 **大中 吉一**

連載 **医療最前線** 長尾和宏の「生」と「死」 医学博士 **長尾 和宏氏**
子供への接種の即時中止を！日本の未来のために再考を！

TOPインタビュー ②6 日東工器株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 **小形 明誠氏**
「開発は企業の保険なり」独自の路線で日本の強みを継承する企業

新連載 **近い将来世界をリードする** (株)人間と科学の研究所 所長 **飛岡 健氏**
日本の文明文化の拡がりとお行き ①

現代美術家
スタートバーン株式会社 代表取締役

施井 泰平氏

**リレー
対談**

経済学者 イェール大学助教授
半熟仮想株式会社 代表取締役

成田 悠輔氏



**政治経済の仕組みは
どうすれば
作り替えられるか**

敗退を繰り返し絶望を深めながら世代交代は進む